

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館の民間活力の導入に係る
サウンディング型市場調査 実施結果の概要

1 調査の目的

本市では、「行財政改革推進プログラム2020」を策定し、持続可能な財政運営と行政サービスの維持のため、民間活力の活用を掲げ、施設等のサービスの向上と効率的な管理運営体制の検討を進めています。民間事業者の皆さまとの対話の場を設定し、様々な視点から中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館（以下「旭川市彫刻美術館」といいます。）の魅力やポテンシャル、課題等を整理し、施設の将来像を明確化することを目的として調査を実施したものです。

2 対象施設

旭川市彫刻美術館（本館及び分館）

3 調査の経過

日程	内容（カッコ内は参加者数）
令和3年9月13日（月）	調査実施の公表
令和3年10月7日（木）	現地見学会（2者） 説明会（2者）
令和3年10月18日（月）～ 11月5日（金）	調査への参加申込みなし サウンディング実施なし

4 サウンディングの参加者

参加者なし

5 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

「1 調査の目的」に基づき、当館が所有する資産（建築物、美術品、情報資産、周辺環境（隣接する井上靖記念館、春光園等）及び学芸員の知見等人的資産）の有効活用、限られた職員数の中での有効な情報発信方法の探究を主たる調査目的として、様々な視点から彫刻美術館の魅力やポテンシャル、課題等を整理し、施設の将来像を明確化することを目的に調査を実施したところですが、事業者の参加申込みがなく、対話の実施に至りませんでした。

今後については、隣接する井上靖記念館との一体発注による管理委託経費の削減を継続

しながら、全国の美術館や他都市の施設運営の動向を見据えつつ、また、国の文化面における施策を踏まえながら、人員体制のあり方を機会をみながら検討してまいります。